

令和 3 年矢巾町議会定例会 1 月会議目次

議案目次	1
------------	---

第 1 号 (1 月 4 日)

○議事日程	3
○本日の会議に付した事件	3
○出席議員	3
○欠席議員	3
○地方自治法第 1 2 1 条により出席した説明員	3
○職務のために出席した職員	4
○開 会	5
○議事日程の報告	8
○会議録署名議員の指名	8
○会期の決定	9
○会議期間の決定	9
○議案第 1 号 令和 2 年度矢巾町一般会計補正予算 (第 1 0 号) について	9
○散 会	1 3
○署 名	1 5

議 案 目 次

令和 3 年矢巾町議会定例会 1 月会議

1. 議案第 1 号 令和 2 年度矢巾町一般会計補正予算（第 1 0 号）について

令和3年矢巾町議会定例会1月会議議事日程（第1号）

令和3年1月4日（月）午前10時開会

議事日程（第1号）

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 会議期間の決定
- 第 4 議案第1号 令和2年度矢巾町一般会計補正予算（第10号）について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席議員（18名）

1 番	藤 原 信 悦 議員	2 番	吉 田 喜 博 議員
3 番	小笠原 佳 子 議員	4 番	谷 上 知 子 議員
5 番	村 松 信 一 議員	6 番	廣 田 清 実 議員
7 番	高 橋 安 子 議員	8 番	水 本 淳 一 議員
9 番	赤 丸 秀 雄 議員	10 番	昆 秀 一 議員
11 番	藤 原 梅 昭 議員	12 番	長谷川 和 男 議員
13 番	川 村 よし子 議員	14 番	小 川 文 子 議員
15 番	山 崎 道 夫 議員	16 番	廣 田 光 男 議員
17 番	高 橋 七 郎 議員	18 番	藤 原 由 巳 議員

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

町 長	高 橋 昌 造 君	副 町 長	水 本 良 則 君
総務課長 兼防災安全 室長	藤 原 道 明 君	企画財政課長 兼未来戦略 室長	吉 岡 律 司 君

税 務 課 長	花 立 孝 美 君
福 祉 課 長	浅 沼 圭 美 君
産業観光課長	佐 藤 健 一 君
文化スポーツ 課 長	田 村 英 典 君
上下水道課長	浅 沼 亨 君
教 育 長	和 田 修 君
子 ど も 課 長	田 村 昭 弘 君
代表監査委員	佐々木 良 隆 君

町民環境課長	吉 田 徹 君
健康長寿課長	村 松 徹 君
道路住宅課長 兼まちづくり 推進室長	佐々木 芳 満 君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	高 橋 保 君
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	佐々木 智 雄 君
学校教育課長	田中館 和 昭 君
学校給食共同 調 理 場 所 長	村 松 康 志 君
農 業 委 員 会 会 長	米 倉 孝 一 君

職務のために出席した職員

議会事務局長	野 中 伸 悦 君
係 長	佐々木 睦 子 君

議会事務局長 補 佐	川 村 清 一 君
---------------	-----------

午前 10 時 00 分 開会

○議長（藤原由巳議員） ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

○議長（藤原由巳議員） 年頭に当たり、ご挨拶を申し上げます。

（議長 藤原由巳議員 登壇）

○議長（藤原由巳議員） 改めまして、新年明けましておめでとうございます。令和3年の矢巾町議会定例会開会に当たりまして、謹んでご挨拶を申し上げます。

まずもって高橋町長ほか町当局の皆さん、そして議員各位におかれましては、コロナ禍の中ではありますが、新たな気持ちで希望を持って新年をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、コロナ禍の中で全世界が経験したことのない厳しい1年であったと思います。その中、国内におきましては、3月2日に全国一斉の学校休校要請、そして4月7日には、7都府県に緊急事態宣言を発し、その後4月16日から5月25日までの間、全国に拡大されました。県内では、7月下旬まで新型コロナ感染者がゼロと、驚異的な状況を維持してまいりましたが、その後11月に入り、多くのクラスターも発生し、収束見通しができない中で年を越した感があります。

本町におきましても、このような状況下でありまして、多くの事業と行事が中止や延期または縮小されてまいりました。その中で議会活動といたしましては、10回の本会議と19回の全員協議会を開催し、町民目線での議論を重ねてまいりました。この間、一般質問におきましては、延べ42名の議員が登壇し、131件について町当局に施策をたしました。この一般質問においては、量、質とも県内町村議会では最上位だと思っております、議会の活性化と議員各位の町政課題解決に向けた意欲が感じられておりました。

さて、迎えました令和3年ですが、このコロナ禍の早期の収束を第一に望むものであります。そして、昨年延期となりました東京オリンピックの開催であります。矢巾町初のオリンピック選手、カヌー競技、水本圭治選手の大活躍がこの矢巾町民に大きな希望と勇気を与えてくれるものと信じております。本年は、町の経済と併せ町財政は非常に厳しい1年が予測されますけれども、コロナ禍に打ち勝って、町と議会が一体となって町民の幸せのために取り組んでまいりたいと考えます。

また、昨年できなかった町の事業や行事が順調に進められ、我が矢巾町を岩手県はもとより全国的にもトップクラスの元気のある音楽とスポーツの盛んな安全、安心で医療と福祉の充実した誰もが住みたいと思う町を皆さんとともに目指してまいりたいと思います。

結びになりますが、今年の干支は辛丑でございます。当議会では、私を含め数名の丑年生まれの方がおります。牛は、皆さんご案内のと通りの動物ですので、私たちも急がず、慌てず、慎重をモットーとしながらも、時には暴走しかねないこともあろうかと思いますので、この1年間、皆様方の堅実な手綱さばきをお願い申し上げ、高橋町長ほか町当局、議員各位のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。ありがとうございました。

○議長（藤原由巳議員） 次に、高橋町長よりご挨拶をいただきます。高橋町長。

（町長 高橋昌造君 登壇）

○町長（高橋昌造君） ただいま藤原由巳議長さんからお許しをいただきましたので、新年のご挨拶をさせていただきます。

議員の皆様方、新年明けましておめでとうございます。どうぞ本年もよろしく願いをいたします。

ただいま藤原議長さんのご挨拶にもございましたように、今年は辛丑と、いにしえの時代から「辛」は、痛みを伴う幕引き、そして「丑」は、殻を破って新しい命の息吹を意味する意味なのだそうです。そういった意味で昨年は、本当にコロナで始まって、コロナで終わったということでございますが、今年こそ災い転じて福となす年にいたしたいなと、こう思っております。

それで皆さん、私は今日は4つのキーワードについてお話をさせていただきたいと、今後の町の運営に当たりまして。まず、1つは、新たな日常の実現、これはコロナウイルス対策、昨年もそうでしたが、今年もこのことにしっかり取り組んでいかなければならない。そして、これまでと考えられない新しいスタイルの暮らし、そういった生活様式を実現をしていかなければならない。今私どものほうは、県を通して国から今いろんな紹介をされておるわけでございますが、新型コロナウイルスのワクチンの接種、議員各位もご存じのとおり、今接種の準備を進めておるところでございます。そして、今年はそういったワクチンの接種ができるという希望の光も見えてきておるのではないのかなということで、そこで今本当に国、県、私らし町村もそうなのですが、本当に緊急事態宣言が出されてもおかしくない状況

下におきまして、これからも油断することなく、しっかり対応してまいりたいということで、今新たな日常の実現に向けて日々努力をしてまいりたいと。

2つ目には、脱炭素、そしてSDGsの実現を図ってまいりたい。特に環境の問題でございしますが、国でいいますと、火力発電から、いわゆるいろんな形でのエネルギーの改革をしていくと。再生エネルギー、そういったことで今言われているのが、ブラックからグリーン、グリーン化、このことに取り組んでいかなければならないということで、まず身近な課題として私どもは、廃棄物の問題に皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと。もうご存じのとおり、年末年始も盛岡紫波地区環境衛生施設組合、焼却、本当に年中通してやっておりますが、それを見るたびにゴミ問題、しっかり減量化、資源化に取り組んでいかなければならないということで、今国からもいろんな、皆さんもご存じのとおり脱炭素に向けて7つの大きなキーワードが国から示されておるところでございます。

そして、3つ目には、デジタル化の推進。デジタルトランスフォーメーション、実はもう年明けたからあれなのですが、先月の12月25日に国からこのDXの推進計画が示されました。だから、もうこれは取り組んでいかなければならない、もうそういった私どもといたしましても、デジタル化、そこの中にはよく今言われる脱判こ、判こレスの問題とか、いろいろあるわけですが、このことを解決していくためには、条例、規則とか、いろんな見直しもしていかなければならないのですが、このことについても議員各位ともよく協議をさせていただきながら前向きに進めさせていただきたいなと、こう考えておるところでございます。

そして、4つ目のキーワードは、何ととっても定住、交流、関係人口の創出を図ってまいりたいと。そして、そこには、いろんな課題が山積しております。もう年を越してしまったのですが、市街化区域の拡大、これを何とかして、まず今お願いをしておるところですが、今日の盛岡タイムスにも出ておりますが、いずれ市街化調整区域の地区計画にも取り組んでまいりたいと。それから、やはり西部地域の活性化、または徳丹城のこれからの歴史公園としての皆さんに親しまれるような観光の位置づけとして、そしてあそこにある南部曲家なんかも、やはりしっかり利活用できるようなことも含めて、そして令和3年度の予算におきましては、議員の皆さん方からもご理解をいただいて、何としても駐車場の確保をお願いしたいなということで、このことについても地権者の方々と協議をさせていただきながら、前向きに取り組んでまいりたいなと。

いずれまだまだお話することがたくさんありますが、まず大きな項目、大要についてお話をさせていただいたわけです。その中におきまして、やっぱり何ととっても、新型コロナ

ウイルスと本当に戦っております医療関係の従事者、それから私らの暮らしを支えていただいておりますエッセンシャルワーカーの皆さん方に、改めて感謝と敬意の言葉を述べさせていただきます。

そして、昨年の大晦日の前の日なのですが、日本レコード大賞、皆さんご存じのとおり、私もあまり最近の歌は関心がなかったのですが、「鬼滅の刃」の主題歌、「炎」、よかったです、L i S Aさんの歌は。そこで、竈門炭治郎とか禰豆子とか、何か私も少なからず影響を受けておるわけでございますが、皆さん、私今日何をお話ししたいかというと、パラレルワールド、異次元の世界、だからダイバーシティ、これからこのようないろんな多様性が求められる時代になってきているのかな。そういうことで新しい発想の下に、また発想を展開して取り組んでいかなければならない課題が山積しておるということで、このことにしっかり取り組んでまいりたいと思います。

結びになりますが、私自身のことですが、自分の身をつねって人の痛みを知ると、やはりそういうことを私も常忘れず、これからの町政運営に当たってまいりたいと、こう考えております。いずれ皆さん、この1年間、どうぞよろしく願いを申し上げまして、私の新年の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。

○議長（藤原由巳議員）　ただいまから令和3年矢巾町議会定例会を開会いたします。

これより1月会議を開きます。

議事日程の報告

○議長（藤原由巳議員）　本日の議事日程はあらかじめお手元に配付したとおりであります。

本日の議事日程に入ります。

日程第1　会議録署名議員の指名

○議長（藤原由巳議員）　日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本会議の会議録署名議員は、会議規則126条の規定により

2番　吉　田　喜　博　議員

3番　小笠原　佳　子　議員

4番　谷　上　知　子　議員

の3名を指名します。

日程第２ 会期の決定

○議長（藤原由巳議員） 日程第２、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、令和２年12月８日開催の議会運営委員会で決定されたとおり、本日から12月28日までの359日間としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（藤原由巳議員） ご異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日から12月28日までの359日間と決定いたしました。

日程第３ 会議期間の決定

○議長（藤原由巳議員） 日程第３、会議期間の決定を議題とします。

お諮りします。本日開催の１月会議の会議期間は、本日１日としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（藤原由巳議員） ご異議なしと認めます。

よって、１月会議の期間は、本日１日と決定いたしました。

日程第４ 議案第１号 令和２年度矢巾町一般会計補正予算（第１０号）について

○議長（藤原由巳議員） 日程第４、議案第１号 令和２年度矢巾町一般会計補正予算（第10号）についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

高橋町長。

（町長 高橋昌造君 登壇）

○町長（高橋昌造君） 議案第１号 令和２年度矢巾町一般会計補正予算（第10号）について提案理由の説明を申し上げます。

歳入につきましては、14款国庫支出金の保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金、15款県支出金の地域企業経営継続支援事業費補助金、18款繰入金の財政調整基金繰入金を増額補正するものであります。

次に、主な歳出につきましては、3款民生費の児童館運営事業及び私立保育園等整備費補助事業。4款衛生費の新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業。7款商工費の中小企業支援事業を増額補正し、歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,808万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ144億9,781万1,000円とするものであります。

詳細につきましては、担当課長からご説明申し上げますので、よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願いを申し上げます。提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（藤原由巳議員） 吉岡企画財政課長。

○企画財政課長兼未来戦略室長（吉岡律司君） 議案第1号 令和2年度矢巾町一般会計補正予算（第10号）の詳細について事項別明細により説明いたします。

9ページをお開き願います。歳入補正の説明につきましては、款、項、項の補正額の順で行います。歳入。14款国庫支出金、2項国庫補助金581万2,000円、主なものといたしまして、保育対策総合支援事業費補助金の増345万円となります。こちらは、児童福祉施設への感染症対策用品等購入の補助となります。下に下がっていただきまして、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金の増236万2,000円です。こちらにつきましては、クーポンの作成及び発送に係る補助となっております。

15款県支出金、2項県補助金877万円、こちらは地域企業経営継続支援事業費補助金の増となります。内容は、家賃支援給付金の補助となっております。

18款繰入金、2項基金繰入金350万1,000円、これによりまして年度末の財政調整基金残高は5億2,126万4,000円となります。

次に、歳出の説明をさせていただきます。13ページへお進み願います。歳出の補正につきましては、主要な項目について説明いたします。説明に当たりましては、款、項、項の補正額の順で行います。歳出。2款総務費、1項総務管理費5万円。

3款民生費、2項児童福祉費690万円。主なものといたしまして、児童館運営事業の増120万円、こちらは児童館に対する新型コロナウイルス感染症対策、消耗品の購入となります。下に下がっていただきまして、私立保育園等整備事業費補助の増520万円、こちらは保育所、認定こども園、それぞれ8園、小規模保育事業所4園、計12園に対する新型コロナウイルス感染症対策の補助金となっております。

4款衛生費、1項保健衛生費236万3,000円、こちらは新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の増となっております。歳入で説明いたしましたとおり、ワクチン接種に係るクーポン印刷と発送に係る内容となっております。

14ページにお進みいただきまして、7款商工費、1項商工費877万円、こちらにつきましては、中小企業支援事業の増となっております。内容は、1か月の売上げが前年対比30%以上減となった中小企業を対象とする家賃支援給付金となっております。

以上で議案第1号 令和2年度矢巾町一般会計補正予算（第10号）の詳細説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○議長（藤原由巳議員） 提案理由及び詳細説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

お諮りします。歳入歳出一括して質疑を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（藤原由巳議員） ご異議がないようでありますので、一括して質疑を行います。質疑ございませんか。

13番、川村よし子議員。

○13番（川村よし子議員） 2点ございます。1点目は、9ページ、そして13ページにもありますが、ワクチンの予防接種のことなのですけれども、これは手続上の書類とか、発送とか、そういう郵送費とかになるとと思いますが、今後の状況とか、今話し合われている状況、その詳しい状況を教えていただきたいと思います。

○議長（藤原由巳議員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） お答えいたします。

今回補正で新型コロナウイルスワクチンの接種対象者への通知ということで65歳以上の方々が今回の対象となっております。国といたしましては、65歳以上の方からスタートしまして、その後、厳密に申し上げますと、医療従事者の方、そして65歳以上の方、そういった方々が優先されるということで、今回はその分を計上させていただいておりますが、今後におきまして65歳未満の方、特にも基礎疾患を有する方も含まれますし、いずれ一般の方は4月以降に、今のところ国としては想定しているというところでございます。

町といたしましては、国のスケジュールで想定されるものとして、いずれ3月上旬に発送という、その流れに沿って遅れのないように町民の皆様が安心して受診できる、接種体制が確保できるよう進めてまいりたいというふうに考えてございます。

以上、お答えいたします。

○議長（藤原由巳議員） 13番、川村よし子議員。

○13番（川村よし子議員） 今説明を受けました。何となく分かりましたけれども、今の説明の中に医療従事者、それから65歳以上、それから基礎疾患がある方ということなのですから、福祉関係の施設で働いている職員とか、児童館とか、そういうところの職員はどのようになるのかお伺いします。

○議長（藤原由巳議員） 村松健康長寿課長。

○健康長寿課長（村松 徹君） お答えいたします。

従事者の中では、医療従事者が優先されるということで、それ以外の今お話ありました保育所、障がい者施設、介護施設もあるわけですが、そういった方々につきましては、一般と同じスケジュールということですので、4月以降接種という流れになりますので、よろしく願いいたします。

以上、お答えといたします。

○議長（藤原由巳議員） 本会議での質問は2問までですので、以上でご理解をいただきます。

他に質疑ございますか。

9番、赤丸秀雄議員。

○9番（赤丸秀雄議員） 商工費の項目で質問させてください。家賃補助という形で今回877万円ほど計上されておりますが、これは何件ぐらいを想定されておりますかという部分と、今まで去年の4月以降、特に助成された件数というのは分かれば、その辺も確認させてください。

以上です。

○議長（藤原由巳議員） 佐藤産業観光課長。

○産業観光課長（佐藤健一君） それでは、まず第1に、第1弾の支援、11月末まで受け付けを行った部分についての実績でございますけれども、こちらにつきましては、全部で45件となっております。内訳につきましては、県の単独事業が27件、これは売上げが50%減の場合、県単で対応いたしましたものでございます。町単が18件、合わせて45件となります。町単につきましては、売上げが30%減から49%までというふうな形で対応させていただいております。

第2弾、今度行うものにつきましては、今回は給付という形になりますけれども、今お話しした45件を超える約五、六十件を想定して対応をさせていただく予定としてございます。

以上、お答えといたします。

○議長（藤原由巳議員） よろしいですか。

他に質疑ございますか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○議長(藤原由巳議員) それでは、質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

討論に入ります。討論ございませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(藤原由巳議員) 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

採決に入ります。議案第1号 令和2年度矢巾町一般会計補正予算(第10号)についてを起立により採決します。

本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(藤原由巳議員) 起立多数であります。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

○議長(藤原由巳議員) 以上をもって本日の議事日程は終了しました。

ご起立をお願いします。矢巾町民歌の斉唱をお願いします。

(町民歌斉唱)

○議長(藤原由巳議員) それでは、これをもちまして令和3年矢巾町議会定例会1月会議を閉じます。

大変ご苦労さまでございました。

午前10時33分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員

署名議員